

目 次
「臨床薬理」 第 49 巻 第 5 号 2018 年 9 月

Letter to the Editor

Influence of age of investigators on research productivity in clinical pharmacology

Dear Editor..... Akito SUZUKI, et al. 179

From the Editor..... Naoki MATSUMOTO..... 180

Instructions for Authors 113E

特別寄稿

ヒト初回投与試験 (FIH 試験) を含む早期臨床試験のチェックリスト 日本臨床薬理学会 183

第 38 回日本臨床薬理学会学術総会 シンポジウム 7 記録

基礎からのトランスレーショナルサイエンス

中枢神経系副作用リスクのメカニズムを最新サイエンスにより紐解く 岩崎 甫ほか 195

議事録

第 44 回理事会 117E

お知らせ

2018 年日本臨床薬理学会地方会開催予定一覧 121E

今後 日本臨床薬理学会が主催する講習会, 研修会の予定 121E

社員総会のお知らせ 122E

第 25 回臨床薬理学会講習会 (2018 年度) 案内, 事前申込書, 入会申込書 122E

会告 ベッドサイドの臨床薬理学~ワークショップ 2018 第 2 報 126E

会告 第 30 回日本医学会総会 2019 中部 127E

各種変更届 130E

「臨床薬理」 投稿規定要旨 （投稿規定全文は第1号末尾に掲載）

原稿の種類、資格 原著 (Original Article)、短報 (Short Communication)、症例報告 (Case Report)、総説 (Review Article)、フォーラム (Forum)、Letter to the Editor、報告の筆頭著者は日本臨床薬理学会の会員であること。非会員からの投稿も受け付けるが、その場合は投稿料として1万円 (年会費相当) を支払うこと。但し、依頼原稿の場合はこの限りではない。著者全員は以下の3点を満たしていること。① 論文の構想およびデザイン、データの取得、分析および解釈において相応の貢献がある。② 論文作成または重要な知的内容に関わる批判的校閲に参与した。③ 投稿原稿の最終確認を行っている。

採否審査にあたり、原稿の一部修正を求めることがある。掲載は原則として投稿受付順とする。なお、臨床研究ではヘルシンキ宣言を遵守し、当該医療機関などでの倫理審査委員会での承認、研究対象者 (被験者) からの同意取得等の記載についても採否の対象とする。また、臨床試験が介入を伴う前向き試験であり、かつ検証的なのである場合には、登録サイト (UMIN 臨床試験登録システム等) に登録すること。

投稿は電子投稿システムを利用し、学会ホームページまたはJ-STAGEの「臨床薬理」のトップページから行う。原稿、**フォーラム**、**総説**、**報告**は別りあり8頁 (図・表・写真・写実は合計6枚以内)、**短報**、**症例報告**は4頁 (図など合計2枚以内)、**Letter to the Editor** は2頁を標準とし、原稿は和文または英文とする。和文は横書きとし (A4判、30字×30行)、英文はダブルスペース (A4判、25行) とする (それぞれ原稿2.5枚強が掲載時1頁相当)。

原稿の1枚目に表題、著者名、所属機関名とその所在地 (所在地は責任著者のみでよい)、著者連絡先、電話番号、Fax番号、E-mail アドレス、ならびに校正送付先を記し、本文は改めて別紙から始める。特別掲載はその旨を朱書きする。著者が、施設・機関へ派遣された企業所属の派遣研究者や社会人大学院生等として実施した研究成果を発表する場合は、その身分だけでなく当該所属企業名も記載する。原稿には必ず頁番号を振る。本文は緒論、方法、結果、考察、結論、資金源の公開、COI、謝辞、文献の順に記す。

和文原稿ではこの他に、英文の表題、著者名、所属機関名とその所在地 (所在地は責任著者のみでよい)、5個以内のkey wordsを記す。さらに原稿では250語程度の英文抄録とその和文訳を添える。フォーラム、総説も原則として英文抄録をつける。

英文原稿 (原著) では、250 words 程度の抄録、5個以内のkey words を2枚目とし、本文は3枚目から始める。

人名は原則として原語、**実験動物名**は片カナ、日本で医薬品として認可され販売されている**医薬品名**は一般名 (JANまたはINN) とする。未発売の薬品名は原則として英米綴りの一般名とする。商品名が必要な場合は最初に一般名が書かれたときに、括弧内に登録商標表示 R または®で示す。[例] ここではプラバスタチン (メバロチン[®]錠) を用いた。

薬物動態パラメータは、原則として *Eur J Clin Pharmacol*.1988；35：1-7. に記載された表記法に準ずる。

その他、**英文略称**として mm, cm, mL, L, g, kg, sec, min, h, wk, yr, LD₅₀, N/10, po, iv, sc, im, ip, t_{1/2}, Vd などとを和文原稿にも用いる。

図・表・写真は、Figure, Table, Photo. と記し、複数の場合は 1, 2, ……を添え、必ず標題をつけ、必要なら説明文を添える。欧文で作成することが望ましい。引用箇所は本文原稿欄外にも明記する。

文献は本文該当部の右肩に引用順に番号を片括弧で記し、本文最後の文献の項に1件ごとに記す。著者が6人以下なら全員記し、7人以上は了人目以下を略し、“ほか”、“et al.”とする。著者と著者の間にはコンマを入れる。外国人著者名の姓と名の間にはコンマを入れず、イニシャルには省略記号 (ビリオド) をつけない。英文原稿に和文文献を引用するときは、最後に (in Japanese) を添える。DOIもあれば記載する。ウェブサイトからの引用は URL とアクセス日を記す。文献の項の書式は、以下の例示に従う。

- 長谷川博司, 古田盛, 粟林俊治, 津田英, 藤川正広, 鈴木基浩ほか. 本邦における放射性同位元素を使用したトマスバランズ試験の現状と課題点に関するアンケート調査結果報告. *臨床薬理*. 2015；46 (6)：265-72.
- Urso C, Brucculeri S, Caimi G. Employment of vasopressin receptor antagonists in management of hyponatraemia and volume overload in some clinical conditions. *J Clin Pharm Ther*. 2015；40 (4)：376-85. doi：10.1111/jcpt.12279.
- Kumagai Y. Placebo-controlled, double-blind study to evaluate the safety, tolerability and pharmacokinetics of intravenous acetaminophen formulation (TRM-1106) in Japanese healthy subjects. *J Clin Ther Med*. 2013；29 (10)：875-87. (in Japanese)
- 小坂樹徳. 糖尿病の診断・スクリーニングに用いられる指標とそれらの相互関係. 早藤弘 (編). *糖尿病2第3版*. 日本臨床. 1997：479-87.
- 日本臨床薬理学会 (編). *臨床薬理学 第3版*. 医学書院. 2011.
- Giacomini KM, Sugiyama Y. Membrane transporters and drug response. Brunton LL, Lazo JS, Parker KL (Eds). *The Pharmacological Basis of Therapeutics, 11th ed.* NY：McGraw-hill. 2006：41-70.
- トンプソンL, シュスターCR (著). 田所作太郎, 安東潔, 柳田知司 (訳). *行動薬理学*. 岩崎学術出版社. 1972. [Thompson L, Schuster CR. *Behavioral Pharmacology*. Englewood Cliffs NJ：Prentice-Hall, Inc. 1968.]
- 厚生労働省. 「医薬等分野における情報の利活用と保護のための環境整備のあり方に関する報告書」の取りまとめについて. [http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2c9852000020kgv.html (accessed 2012-11-15)]

利益相反 (COI) の記載：投稿論文の著者全員は、当該論文に関わる COI 状態について本学会の「利益相反マネージメント規則」に従い、本学会所定の書式にて投稿時に学会事務局へ届け出る。企業依頼の試験の場合は、臨床研究実施者と関係する企業との利害関係を開示しなければならぬ (資金源の公開)。また、同内容を論文末尾、謝辞または文献の前に資金源の公開、COI 状態を記載する。開示すべき COI 状態がない場合にも、その旨を同部分に記載する。

二重投稿：二重投稿が判明した場合には掲載を取り消し、その旨を誌上で公表することがある。

著作権は日本臨床薬理学会に帰属する。図・表・写真・カラ写実については実費加算。**掲載料**は標準の長さまで1頁あたり5,000円、超過分は倍額とする。Letter to the Editorの掲載料は無料とする。

別刷は執筆依頼原稿の10～30部贈呈を除いてはすべて有料とし、著者校正の際に50部単位で申し込むこと。

原著論文は全て「臨床薬理研究振興財団賞」学術論文賞の対象論文となる。

●編集委員

委員長 松本直樹 (聖マリアンナ医科大学・薬理学)

委員 赤沢 学 (明治薬大・公衆衛生・疫学)

猪爪信夫 (北海道科学大・薬・臨床薬理学)

越前宏俊 (明治薬大・薬物治療学)

下田和孝 (獨協医大・精神神経医学)

杉本光繁 (滋賀医大・光学医療診療部)

藤田朋恵 (獨協医大・薬理学)

(五十音順)

臨床薬理

2018年9月25日 印刷

2018年9月30日 発行

編集／「臨床薬理」編集委員会

発行所／日本臨床薬理学会

発行人／松本直樹

制作／(株)三原医学社

「臨床薬理」編集室 (担当：清原廣子)

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-19

Tel 03-3203-5106 Fax 03-3203-5024

印刷所／三報社印刷 (株)

日本臨床薬理学会事務局

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16

学会センタービル

Tel 03-3815-1761 Fax 03-3815-1762

E-mail：climphar@jade.dti.ne.jp

URL：http://www.jscpt.jp

★年間購読料	10,000円
---------------	----------------

本誌に掲載された論文、抄録、記事等の著作権は日本臨床薬理学会に帰属する。